

# 明石SAへのスマートICの設置 に関する調査検討について



日時：2026年5月



## 説明の流れ

2

- ・・・スマートICについて・・・
- 1 これまでの経緯
- 2 スマートIC
- 3 神戸西バイパス整備事業
- 4 明石SA
- 5 石ヶ谷公園
- 6 令和4年度 スマートIC設置基礎調査の結果
- ・・・最新の検討状況の説明・・・
- 7 令和7年度 スマートIC設置基礎調査(その2)の結果
- 8 整備効果(防災機能の強化等)
- 9 今後の進め方



# 1 これまでの経緯 ① 調査検討箇所

3



# 1 これまでの経緯 ② 経緯

4

## 2022年度（令和4年度）

- ・「スマートIC設置基礎調査」を実施
  - ※神戸西バイパスの延伸により、明石S A付近に第二神明道路と合流する石ヶ谷JCT（仮称）ができることをきっかけに、本会議で複数の議員から明石S Aに接続するスマートICの設置について提案を受ける。
  - 明石S Aに近接して工事用道路（石ヶ谷墓園への迂迴路）がNEXCO西日本により整備されることなどから検討を開始。

## 2023年度（令和5年度）

- ・市長交代（泉市長→丸谷市長）

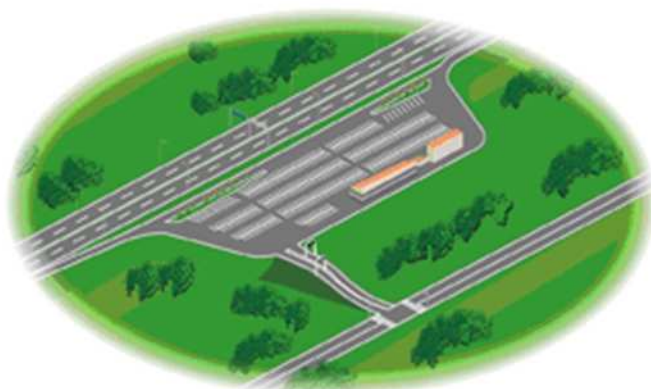
## 2024年度（令和6年度）

- ・調査結果を市議会に報告（令和6年6月）
  - ※梅林の80%の移設が必要
- ・調査結果を踏まえて内部検討 ※「一度、立ち止って検討」

## 2025年度（令和7年度）

- ・「スマートIC設置基礎調査（その2）」を実施
- ・調査結果を市議会に報告（令和8年3月）
  - ※梅林の保全を前提とした整備

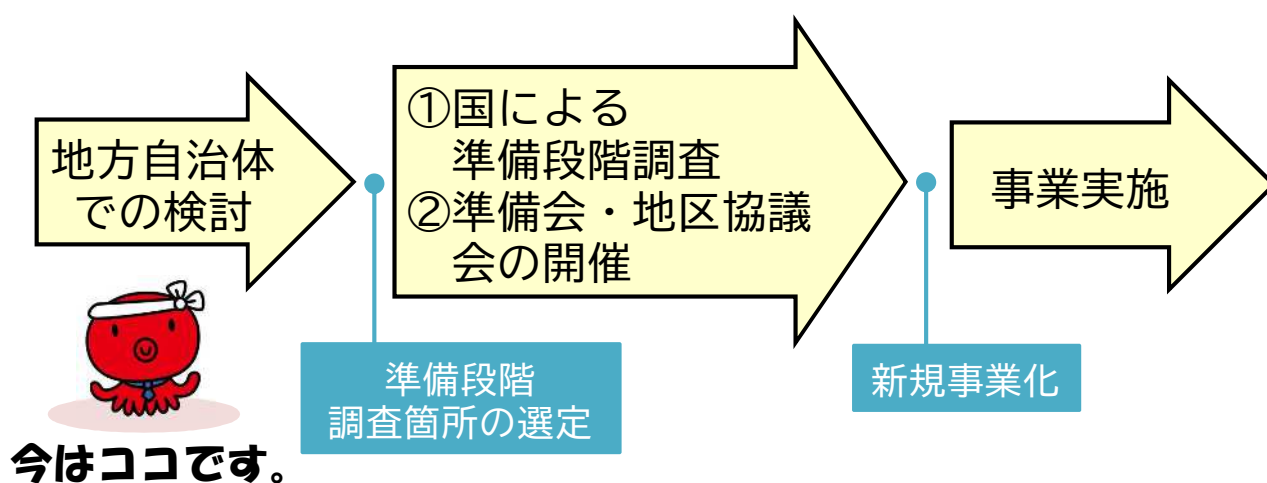
スマートICは、サービスエリア（SA）などから乗り降りができるように設置されるインターチェンジであり、通行可能な車両（料金の支払い方法）を、ETCを搭載した車両に限定しているインターチェンジです。利用車両が限定されているため、簡易な料金所の設置で済み、料金徴収員が不要なため、従来のICに比べて低コストで導入できるなどのメリットがあります。



SA・PA接続型イメージ



三芳スマートIC（関越自動車道）





明石SAは大久保町松陰にある第二神明道路唯一のサービスエリアです。一般道からウェルカムゲートを通して利用できます。



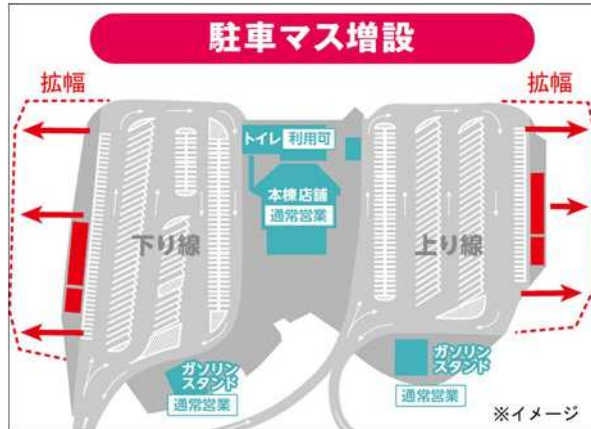
本棟店舗



ウェルカムゲート

明石SAの主な施設

	店舗	駐車場					トイレ					急速充電スタンド	ガソリンスタンド	ウェルカムゲート
		合計	大型	小型	障がい者	二輪	男大	男小	女性	多目的				
全体	3	346	88	234	9	18	24	28	36	2	2	2	1	
上り	1.5	155	44	100	4	8	12	14	18	1	1	1	0	
下り	1.5	191	44	134	5	10	12	14	18	1	1	1	1	



工事状況

現在、駐車マス不足を解消するため、駐車場拡幅工事を実施中。上下線合わせて約駐車マスが約50台増加する予定



設置年月：昭和56年10月 面積：13.9 ha  
 遊具施設：あそびの丘（恐竜型遊具 他）  
 運動施設：中央体育会館、野外活動広場  
 休憩施設：明錫亭（あずまや）他  
 その他：梅園（梅林）、日時計、馬場、ビオトープ、ハーブガーデンズ、駐車場（350台）他



①あそびの丘（恐竜型遊具）



②野外活動広場



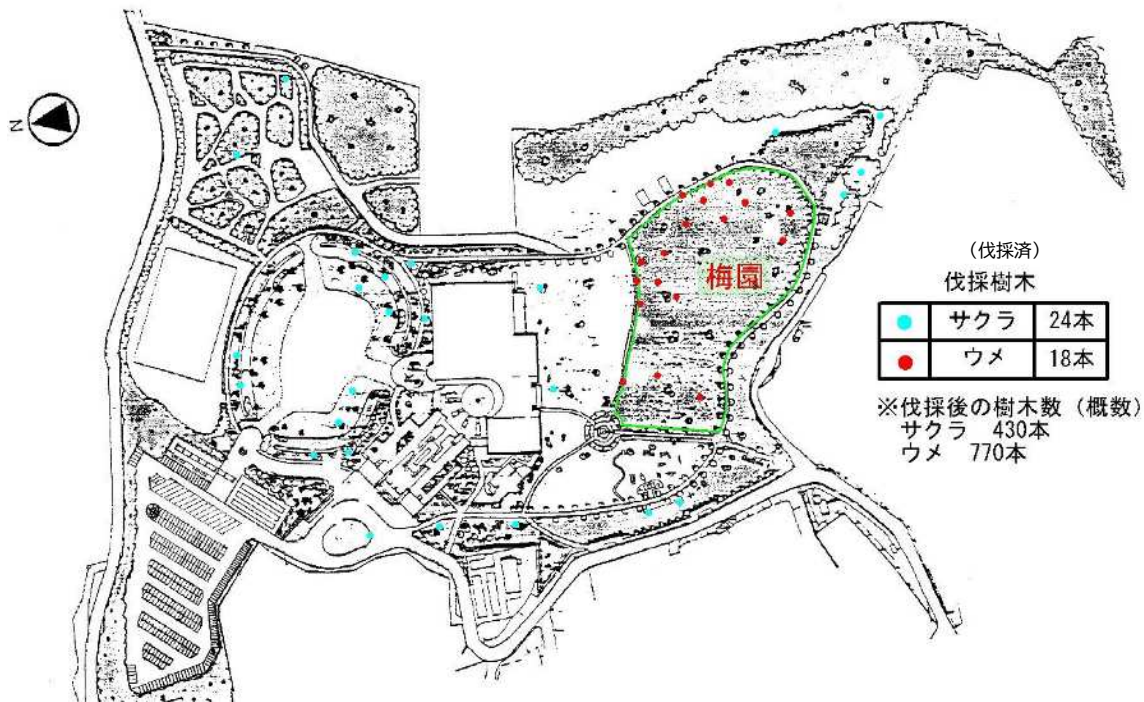
③梅林



④明石中央体育会館

- 概要：市民が花と緑に親しむことのできる梅林を、市民と共につくりました。※県「花の名所づくり事業」を活用
- 植樹日：昭和53年11月21日
- 面積：1.6ha
- 本数：1600本植樹、記念植樹などで追加し約800本が現存

石ヶ谷公園においては、サクラやモモの木を枯らす特定外来種である「クビアカツヤカミキリ」が確認されています。樹木医による定期点検と処置を行っています。被害がおさまらず、樹木医の判断で伐採を行っています。



## 6 令和4年度 スマート I C 設置基礎調査の結果 12

### ①目的

スマート I C の設置の可能性や課題等を調査しました。

### ②ルート検討

#### 【検討方針】

- ・明石サービスエリアに隣接したスマート I C とする。
- ・第2次最終処分場への影響をできるだけ避けます。

#### 【検討結果】

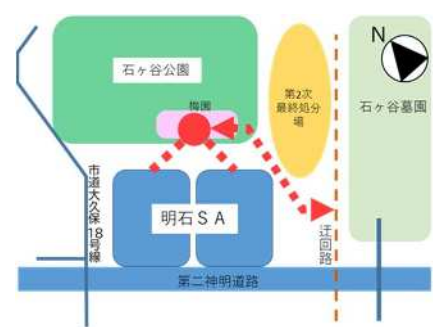
隣接している石ヶ谷公園の梅林エリア等を活用することでスマート I C を設置できる可能性があります。

### ③主な課題

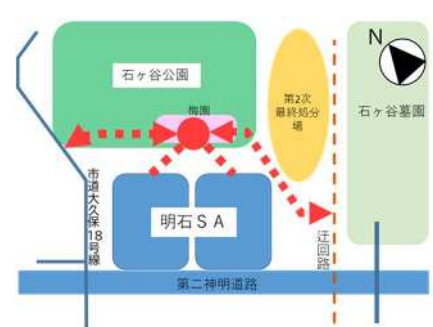
- ・スマート I C の設置場所を確保するためには、石ヶ谷公園の梅林 (2 ha 程度/梅林のおよそ80%) の移設等について調査が必要
- ・石ヶ谷公園の都市計画法や都市公園法の規制解除について調査が必要

※ 「再検討」 が必要

(A案) スマート I C と一般道が区別でき公園への影響が比較的少ない。



(B案) 東西を結ぶ道路ができ、交通量の分散や渋滞緩和が期待される。



ここからは、  
**最新の検討状況**について  
 説明します。

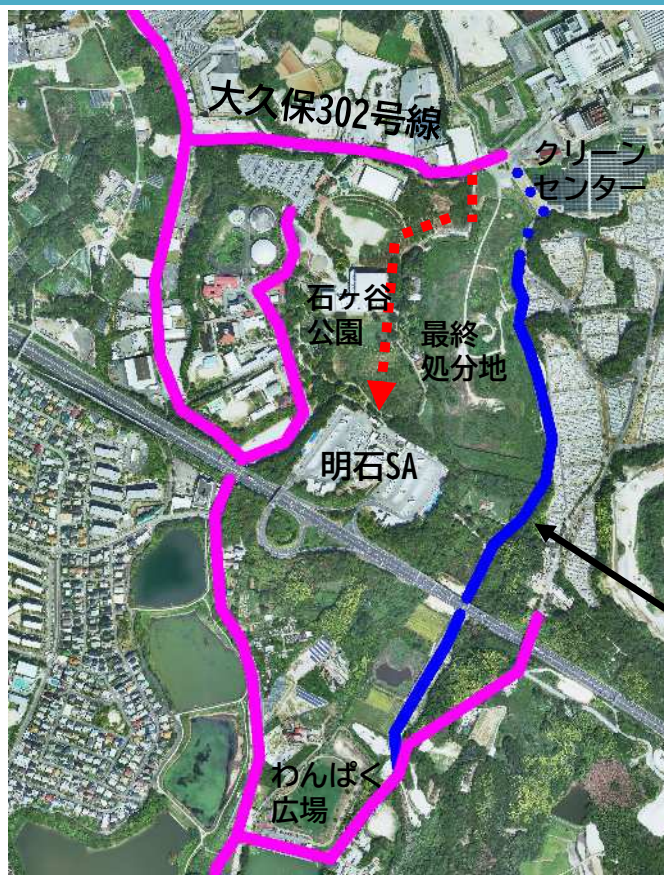
## 7 令和7年度 スマートIC設置基礎調査(その2)結果 14


### 設置ルートの再検討

目的は、梅林保全を前提とした別ルートを検討することです。

	A案	B案
ルート図	<p>市道大久保302号線</p> <p>石ヶ谷公園</p> <p>中央体育会館</p> <p>梅林</p> <p>明石S A 下り 上り</p> <p>第二神明道路</p> <p>第2次最終処分場</p> <p>迂回路</p> <p>石ヶ谷墓園</p> <p>N</p>	<p>市道大久保302号線</p> <p>石ヶ谷公園</p> <p>中央体育会館</p> <p>梅林</p> <p>明石S A 下り 上り</p> <p>第二神明道路</p> <p>第2次最終処分場</p> <p>迂回路</p> <p>石ヶ谷墓園</p> <p>N</p>
ルートの特徴	<p>市道大久保 302 号線から石ヶ谷公園の周縁部を經由し、梅林の一部を通過して明石S Aに接続するルート</p> <p>梅林エリアへの影響範囲は全体の <u>2.5 割程度</u>を想定</p> <p>全体事業費 <u>約 16 億円</u>          (うち、市の実質負担額 <u>約 3 億円</u>)</p>	<p>市道大久保 302 号線から石ヶ谷公園の周縁部を經由し、中央体育会館と梅林の間を通過して、明石S Aに接続するルート</p> <p>梅林エリアへの影響範囲は全体の <u>1.5 割程度</u>を想定</p> <p>全体事業費 <u>約 21 億円</u>          (うち、市の実質負担額 <u>約 5 億円</u>)</p>

※事業費は今後の検討により変動する可能性があります。



  
 ルート案

迂回路  
 ネクスコ西日本より  
 明石市へ帰属

スマートインターチェンジの設置に伴う課題と整備効果

	課題	整備効果
防災機能の強化	災害への備え	防災応急復旧拠点の実現
交通渋滞の緩和	慢性的な交通渋滞と速度低下	交通渋滞と速度低下の緩和
産業活動の振興	物流の定時配送や迅速な輸送の損失	物流の定時性と速達性の向上
救急医療活動の改善	一般道の交通渋滞による緊急車両の遅延	搬送時間の短縮
地域活性化の推進	アクセスの不便さによる利用者の限定	利用者の増加

## 現状と課題

- ①南海トラフ巨大地震など大規模災害による甚大な被害が想定されています。
- ②救援動線は、緊急輸送道路である第二神明道路の大久保ICから一般道路を経由し、自衛隊の駐屯地や物資の集積場所に指定されている石ヶ谷公園にアクセスすることとなります。
- ③被災時には、経由する一般道路の断絶や交通渋滞が見込まれます。

緊急輸送道路とは、災害直後から、避難・救助をはじめ、物資共有等の応急活動のために、緊急車両の通行を確保すべき重要な路線です。  
(国交省HPより)



## スマートインターチェンジの整備効果

- ①高速道路から石ヶ谷公園への自衛隊、緊急車両、給水車、支援物資運搬トラック等、災害時に必要不可欠となる車両等の直接の受け入れが可能となります。
- ②直接の受入が可能となり、災害時の初動体制が短時間で行えることで、人命救助の時間の確保ができます。また、支援物資の受入れ体制の強化も容易にでき、災害応急対応の強化ができます。
- ③明石市は東西に細長いため、沿岸部においては、地震により液状化や津波等の影響を受ける可能性が高い市です。石ヶ谷公園は液状化危険度が極めて低い場所にあります。スマートICで、直接的に石ヶ谷公園と連結することで、明石SAや周辺公共施設との一体的な活用で、石ヶ谷エリア全体を「防災応急復旧拠点」として位置づけることが可能となります。

「防災応急復旧拠点」  
明石SAの周辺には、石ヶ谷公園、中央体育館、明石クリーンセンター、水道の中部配水場、福祉施設等の公共施設が多く集まっています。



地震による市の被害想定

(兵庫県地震被害想定(内陸型活断層) 平成21～22年)



(兵庫県 南海トラフ巨大地震津波被害想定 平成26年)



防災倉庫等の配置と地震被害外観



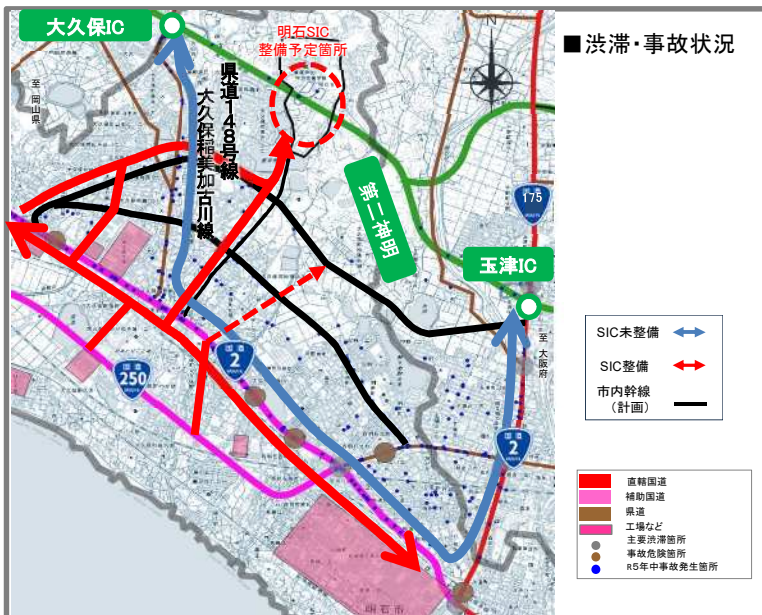
## 災害応急復旧のイメージ

※液状化危険度(南海トラフ巨大地震)



## (1) 交通渋滞の緩和 (地域住民の利便性や快適性の向上)

- 【必要性】: 大久保ICや玉津ICにアクセスする交通量の分散を図りつつ、抜け道となっている市道の交通をスマートICのアクセス道路に転換し、地域住民の利便性や安全性を向上するため、スマートICを整備する必要がある。
- 【整備効果】: 大久保ICや玉津ICにアクセスする国道2号、県道148号(大久保稲美加古川線)の慢性的な交通渋滞や速度低下が緩和されることで、周辺住民の定時性や快適性が改善される。
- 【整備効果】: 抜け道となっている住宅地内の通過交通が軽減され、地域交通の安全性が向上し、事故件数の削減が図れる。



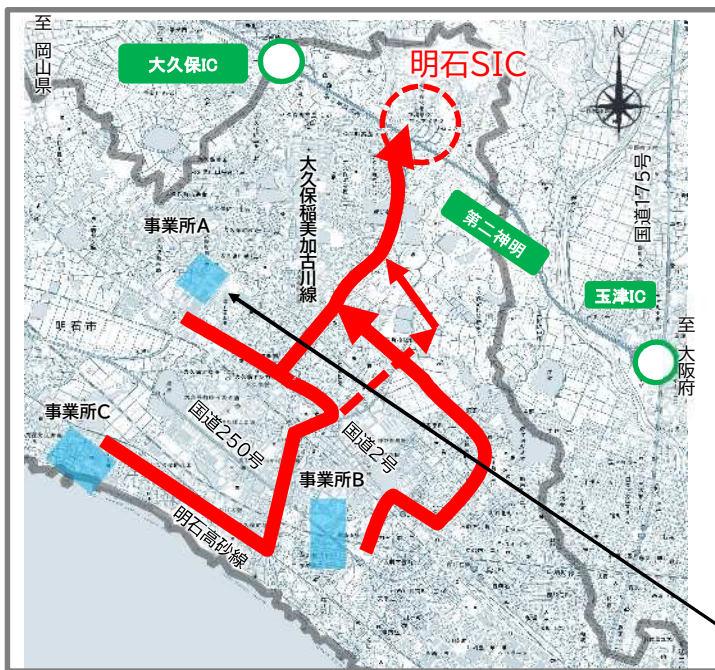
## 将来の交通量推計の再計算を実施予定

- ・最新の国の交通量推計データを用いて再計算を実施
- ・整備中の道路(山手環状線と江井ヶ島松陰新田線)を計算に考慮

※最新の国の交通量推計データ  
 全国道路・街路交通情勢調査の  
 交通量推計データを使用

## （2）産業活動の振興

- 【必要性】: 主要な産業施設から第二神明道路までの輸送環境、アクセス性を改善することにより、産業活動の振興を図るため、スマートICを整備する必要がある。
- 【整備効果】: 旅行速度の低い国道2号や県道を回避できるため、アクセス時間が短縮され物流の定時性と速達性が向上し、地域産業の生産性向上が図れる。



いつも玉津ICを利用していましたが一般道路の渋滞で、高速に乗るまでに時間がかかります。  
 明石スマートインターチェンジが整備され、安全かつ円滑な交通を期待しています。

沿道企業従業員  
ヒアリングイメージ  
単位:分

	玉津IC	大久保IC	明石SIC
事業所A	27.4	12.1	9
事業所B	18.7	17.7	13
事業所C	30.1	20.7	15.5

令和3年度全国道路・街路交通情勢調査  
 平均旅行速度、センサス外の旅行速度はV=30km/hとして算出。

■国内最大級の保管・出荷能力を持つ自動物流センター「明石メガDC」を竣工、2022年より稼働開始している。  
 出典: コカ・コーラ ボトラーズジャパン 株式会社 ホームページ

## （3）救急医療活動の改善

- 【必要性】: 高速道路へのアクセス性を強化し、救急医療活動の改善を図るため、スマートICを整備する必要がある。
- 【整備効果】: 第三次救急医療施設である兵庫県立加古川医療センターへの搬送について、渋滞・混雑を回避し、搬送時間が短縮されることで生存率が向上される。

### ■三次救急医療への緊急搬送

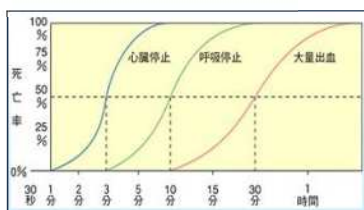


兵庫県立加古川医療センター

スマートICが整備されると、三次救急医療施設への時間短縮をはじめ、混雑のないルート利用が可能となります。

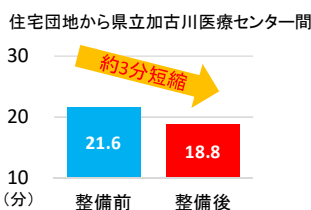
消防署職員

### ■<カーラーの救命曲線>

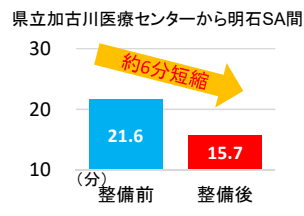


出典: 内閣府資料  
 (心肺そ生法等の応急手当の普及啓発活動の推進)

### ■第三次救急医療施設への搬送時間



### ■第三次救急医療施設からドッキングまでの時間



出典: 令和3年度全国道路・街路交通情勢調査 旅行速度

（4）地域活性化の推進（観光、スポーツ振興、環境教育）

- 【必要性】：石ヶ谷公園や里山エリアへの、**遠方からのアクセス性向上**により、観光、スポーツ振興、環境教育の促進を図ることができる。
- 【整備効果】：石ヶ谷公園と明石SAとの連携や周辺施設（わんぱく広場や里山など）との一体的なイベントの実施などにより、大久保地域への来訪者の増化を生み、エリア全体の魅力向上が図られる。また、石ヶ谷公園の利用者数向上により、**観光とスポーツ振興**が推進され、地域が活性化する。さらには里山エリアがより多く利用されることで、**環境教育**が推進される。

■観光施設

出典：  
しんきパーク&スポーツマネジメント共同事業体ホームページ

「遠方からのアクセス向上」

石ヶ谷公園  
明石SIC整備予定箇所  
大久保IC  
第二神明  
玉津IC  
里山エリア

■スポーツ振興

■環境教育

大学生による里山計画作成のための現地調査

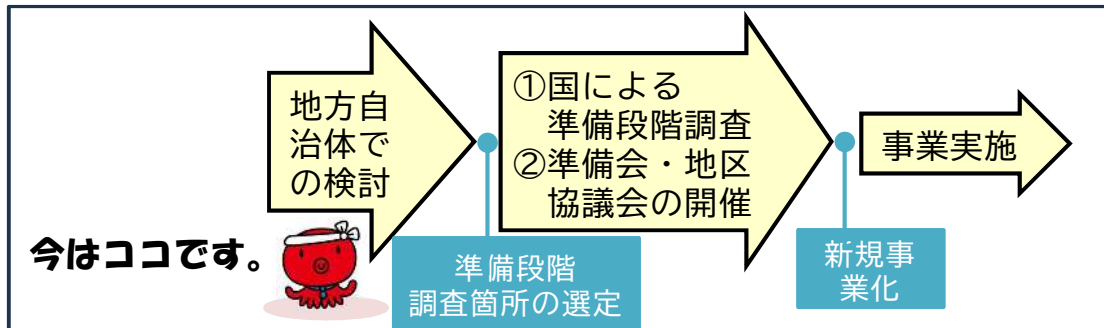
「あそびキャンプ」や「もりのようちえん」など、主に親子を対象とした自然体験

出典：  
明石市ホームページ

9 今後の進め方

今後の進め方

- ①**梅林保全を前提**とした2案をもとに、国、県、NEXCO西日本に、今後も引き続き相談しながら**調査検討**を進めていきます。
- ②前回調査（令和7年度）における他の検討事項（**周辺道路への影響調査**や石ヶ谷公園の**都市計画変更**など）について、整理していきます。
- ③進捗状況を踏まえ、市民、企業、議会等に適宜、**説明**していく予定です。



スケジュール

- ・令和8年度：**スマートIC概略修正設計の実施**  
⇒ 必要性検討の見直し、将来交通量推計、整備効果の分析等  
国の準備段階調査への**エントリーの意思決定（明石市）**
- ・令和9年度以降：**国の準備段階調査**（準備会・地区協議会の開催）